

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

2008年度より新公益法人会計基準に移行した。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りです。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
利付公社債	100,162,500	0	100,162,500	0
投資有価証券	1,286,000,000	82,000,000	0	1,368,000,000
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
普通預金	0	100,000,000	0	100,000,000
小計	1,389,162,500	182,000,000	100,162,500	1,471,000,000
特定資産				
公益事業積立金	0	0	0	0
助成事業運営資金	161,719,228	63,811,732	0	225,530,960
小計	161,719,228	63,811,732	0	225,530,960
合計	1,550,881,728	245,811,732	100,162,500	1,696,530,960

①太平洋工業株式の評価額は、2024年12月30日の時価(1株1,368円)による。

太平洋工業(株)株式:1,000,000株、無額面株式

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
利付公社債	0	0	0	0
投資有価証券	1,368,000,000	1,368,000,000	0	0
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
普通預金	100,000,000	100,000,000		
小計	1,471,000,000	1,471,000,000	0	0
特定資産				
公益事業積立金	0	0	0	0
助成事業運営資金	225,530,960	225,530,960	0	0
小計	225,530,960	225,530,960	0	0
合計	1,696,530,960	1,696,530,960	0	0

5.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次の通りです。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
利付公社債	0	0	0

6.指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次の通りです。

(単位:円)

内容	金額
①基本財産運用益(公社債利息)	554,000
②基本財産運用益(受取配当金)	17,190,000
③基本財産運用益(定期利息)	290
④特定資産積立金取崩	0
計	17,744,290

7. 附属明細書の作成について

- ・基本財産および特定資産の明細は、本「財務諸表に対する注記」に記載しており、附属明細書の記載を省略する。
- ・引当金の明細は、記載すべき引当金が無いため、附属明細書の記載を省略する。